



## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月1日

上場取引所 東 名

上場会社名 イビデン株式会社

コード番号 4062 URL <http://www.ibiden.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 竹中 裕紀

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長

(氏名) 佐野 尚

TEL 0584-81-3111

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	71,685	3.1	3,408	△12.5	5,238	57.0	3,386	—
25年3月期第1四半期	69,541	1.9	3,893	△6.2	3,335	△4.0	△106	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 12,782百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △7,678百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	24.52	24.35
25年3月期第1四半期	△0.74	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	433,051	297,260	67.6	2,119.50
25年3月期	430,040	286,705	65.6	2,043.29

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 292,679百万円 25年3月期 282,157百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 平成26年3月期の配当予想額につきましては、未定であります。

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	138,000	△2.1	6,500	6.2	6,000	24.7	3,000	325.5	21.73
通期	290,000	1.4	18,000	232.2	17,000	56.1	9,000	303.2	65.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	150,860,557 株	25年3月期	150,860,557 株
26年3月期1Q	12,771,261 株	25年3月期	12,771,104 株
26年3月期1Q	138,089,386 株	25年3月期1Q	143,090,607 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済につきましては、米国の消費が好調に推移するなど明るさが見えてまいりましたものの、欧州景気は引き続き停滞し、中国や新興国の高い成長にも陰りが見えはじめております。日本国内におきましては、政府・日銀の積極的な経済政策により個人消費が上向くなど、緩やかながらも景気回復の機運は高まってまいりました。

半導体・電子部品業界におきましては、スマートフォンやタブレット型携帯端末は高い成長を持続しておりますものの、牽引役は徐々に中・低価格品に移り始めております。また、パソコン需要は依然低迷したままであり、当社事業を取り巻く環境は厳しい状況が続きました。

自動車排気系部品業界におきましては、欧州市場は停滞したままでありましたが、北米・アジアの自動車販売が好調に推移するなど、一部に明るさが見えてまいりました。

このような情勢のもと、当社グループでは連結中期経営計画「Challenge IBI-TECHNO 105 Plan」をスタートさせ、事業の構造改革を積極的に進めるとともに、独自の改善活動をグローバルに展開し、収益基盤の強化に努めております。

これらの結果、当第1四半期の売上高は716億85百万円と前年同期に比べ、21億44百万円(3.1%)増加いたしました。営業利益は34億8百万円と前年同期に比べ4億85百万円(12.5%)減少し、経常利益は52億38百万円と前年同期に比べ19億2百万円(57.0%)増加し、四半期純利益は33億86百万円(前年同期は1億6百万円の四半期純損失)となりました。

セグメントの概況は、次のとおりであります。

## 電子事業

パソコン用パッケージ基板は、パソコン市場低迷による販売数量の減少に加え、企業間競争の激化に伴う価格低下圧力も強まり、売上減となりました。

携帯端末用小型・薄型パッケージ基板は、スマートフォンの次世代品への切り替え時期が遅れたことに伴う生産調整の影響を受け、売上減となりました。

携帯端末用マザーボード・プリント配線板は、新規顧客への拡販活動が功を奏し、売上増となりました。

以上により、電子事業の売上高は、344億20百万円となり、前年同期に比べ17.8%減少しました。同事業の営業利益は1億65百万円となり、前年同期に比べ93.3%減少しました。

## セラミック事業

ディーゼル・パティキュレート・フィルター(DPF)及び触媒担体保持・シール材は、欧州乗用車市場は2年連続のマイナス成長でしたが、北米・アジア市場向けが底堅く推移したことに加え、為替が円安基調にあったことから、売上増となりました。

特殊炭素製品は、太陽電池市場が引き続き調整局面にあることに加え、半導体市場の戻りも限定的で、シリコン製造装置用部材の受注が低迷したことにより売上減となりました。

なお、前年第2四半期より連結子会社となりましたイビデンポルツェランファブリックフラウエンター(株)とその子会社2社の売上高も寄与しております。

以上により、セラミック事業の売上高は、244億82百万円となり、前年同期に比べ39.7%増加しました。同事業の営業利益は23億97百万円となり、前年同期に比べ87.0%増加しました。

## 建材事業

化粧板関連販売部門は、住宅着工数が持ち直すなど市況が回復に向かい、売上増となりました。

住宅設備機器販売部門は、再生可能エネルギー固定価格買取制度に伴う特需を捉えて太陽光発電設備の販売が好調に推移し、売上増となりました。

以上により、建材事業の売上高は、60億69百万円となり、前年同期に比べ52.1%増加しました。同事業の営業利益は30百万円(前年同期は2億51百万円の営業損失)となりました。

## 建設事業

法面工事部門は、法面の全面緑化を可能にする独自工法の採用が進み、受注・完工ともに増加した結果、売上増となりました。

各種設備設計施工部門は、電力・エネルギー関連及び水処理プラント工事の受注が増加し、売上増となりました。

以上により、建設事業の売上高は、18億67百万円となり、前年同期に比べ16.3%増加しました。同事業の営業利益は62百万円となり、前年同期度に比べ75.5%減少しました。

## その他事業

情報サービス関連部門は、医療健診システムの拡販に加え、民間向け基幹システムの導入により、売上増となりました。

農畜水産物加工部門は、乾燥食材の販路拡大が功を奏し、売上増となりました。

以上により、その他事業の売上高は、48億44百万円となり、前年同期に比べ7.2%増加しました。同事業の営業利益は1億30百万円となり、前年同期に比べ132.1%増加しました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ30億10百万円増加しました。主な増減としては、現金及び預金が28億42百万円、投資有価証券が30億35百万円それぞれ増加し、有価証券が49億97百万円、受取手形及び売掛金が32億92百万円それぞれ減少しております。

負債では未払法人税等が39億83百万円、未払金が19億33百万円それぞれ減少しております。また純資産は、為替換算調整勘定が増加したことなどにより、105億54百万円増加しました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期における業績は概ね計画どおりに推移しており、平成25年4月25日の決算発表時の業績予想に修正はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算・・・見積実効税率を利用して税金費用を計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

### 有形固定資産の減価償却方法の変更

一部の在外連結子会社は、従来、有形固定資産の減価償却の方法について、定率法を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

当社グループでは、高付加価値製品の生産及び設備投資について海外へのシフトを進めておりましたが、新中期経営計画「Challenge IBI-TECHNO 105Plan」（2013年度から2017年度）を策定し、コア事業の競争力の強化、再構築を行い、グローバルに展開している顧客への対応を行いました。

この顧客への対応の一環として、当社グループではプリント配線板の合理的な生産体制の見直しを行いました。プリント配線板の製造に関して、当該在外連結子会社は、量産を行う中心的な製造拠点として、継続的な設備投資がなされ、生産能力を向上させつつ、高付加価値製品を安定的に生産することとなる一方、国内の製造拠点は、試作品の製造や量産品の需給ギャップを調整するための生産をすることとなります。

以上から、当該在外連結子会社の生産設備が、長期的に安定した稼働率を維持することが確実となったことを契機に減価償却方法の見直しを行った結果、使用可能期間にわたり平均的に原価配分する定額法による減価償却が、当該在外連結子会社の有形固定資産の利用実態をより適切に反映し、期間損益計算をより適正に行うための費用配分方法であると判断するに至りました。

この変更により、従来の方法によった場合に比べ、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ518百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	63,047	65,889
受取手形及び売掛金	58,837	55,544
有価証券	20,183	15,185
商品及び製品	13,890	13,316
仕掛品	8,219	9,912
原材料及び貯蔵品	16,554	16,340
繰延税金資産	3,208	3,203
その他	7,253	9,417
貸倒引当金	△1,507	△2,448
流動資産合計	189,685	186,361
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	75,022	80,828
機械装置及び運搬具(純額)	66,094	67,981
土地	18,274	18,500
リース資産(純額)	2,197	2,278
建設仮勘定	28,099	24,488
その他(純額)	4,098	4,243
有形固定資産合計	193,788	198,320
無形固定資産		
投資その他の資産	11,336	11,101
投資有価証券	30,748	33,783
長期貸付金	51	38
繰延税金資産	2,551	1,627
その他	2,268	2,208
貸倒引当金	△389	△391
投資その他の資産合計	35,230	37,266
固定資産合計	240,355	246,689
資産合計	430,040	433,051

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,951	38,333
短期借入金	20,515	19,888
未払金	11,551	9,618
未払法人税等	5,546	1,563
繰延税金負債	62	116
賞与引当金	3,296	1,777
役員賞与引当金	41	—
設備関係支払手形	2,057	1,421
その他	11,353	13,860
流動負債合計	93,376	86,580
固定負債		
社債	40,000	40,000
長期借入金	3,409	3,390
リース債務	664	672
再評価に係る繰延税金負債	157	157
退職給付引当金	355	396
役員退職慰労引当金	631	—
繰延税金負債	2,716	2,677
その他	2,022	1,916
固定負債合計	49,958	49,210
負債合計	143,334	135,790
純資産の部		
株主資本		
資本金	64,152	64,152
資本剰余金	68,354	68,354
利益剰余金	182,263	183,437
自己株式	△37,107	△37,107
株主資本合計	277,663	278,837
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,736	8,715
繰延ヘッジ損益	△12	1
土地再評価差額金	71	71
為替換算調整勘定	△2,300	5,054
その他の包括利益累計額合計	4,493	13,842
新株予約権	920	920
少数株主持分	3,628	3,660
純資産合計	286,705	297,260
負債純資産合計	430,040	433,051

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	69,541	71,685
売上原価	53,688	56,341
売上総利益	15,852	15,344
販売費及び一般管理費	11,958	11,935
営業利益	3,893	3,408
営業外収益		
受取利息	77	53
受取配当金	286	330
為替差益	—	2,157
その他	1,106	215
営業外収益合計	1,470	2,756
営業外費用		
支払利息	102	87
設備賃貸費用	3	2
為替差損	1,632	—
休止固定資産減価償却費	—	455
その他	289	381
営業外費用合計	2,028	927
経常利益	3,335	5,238
特別利益		
固定資産売却益	21	40
新株予約権戻入益	1	—
その他	0	—
特別利益合計	23	40
特別損失		
固定資産除却損	68	164
減損損失	0	0
投資有価証券評価損	4	—
関係会社整理損	2,894	19
その他	—	11
特別損失合計	2,967	196
税金等調整前四半期純利益	391	5,082
法人税等	456	1,650
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△65	3,431
少数株主利益	40	45
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△106	3,386



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△65	3,431
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,398	1,981
繰延ヘッジ損益	27	14
為替換算調整勘定	△6,242	7,354
その他の包括利益合計	△7,612	9,350
四半期包括利益	△7,678	12,782
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△7,705	12,734
少数株主に係る四半期包括利益	27	47

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

特記すべき事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

## ① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電子	セラミック	建材	建設	計		
売上高							
(1) 外部顧客への 対する売上高	41,896	17,527	3,991	1,605	65,021	4,519	69,541
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	16	0	3,008	3,030	1,281	4,312
計	41,901	17,543	3,992	4,614	68,052	5,801	73,853
セグメント利益 又は損失(△)	2,478	1,282	△251	253	3,762	56	3,818

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、合成樹脂加工業、農畜水産物加工業、石油製品販売業、情報サービス等の各種サービス業等を含んでおります。

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,762
「その他」の区分の利益	56
セグメント間取引消去	△38
全社費用及び利益(注)	113
四半期連結損益計算書の営業利益	3,893

(注) 全社費用及び利益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び電力利益であります。

## ③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

特記すべき事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電子	セラミック	建材	建設	計		
売上高							
(1) 外部顧客への 対する売上高	34,420	24,482	6,069	1,867	66,840	4,844	71,685
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	31	2	1,443	1,478	557	2,035
計	34,421	24,514	6,071	3,311	68,318	5,402	73,721
セグメント利益	165	2,397	30	62	2,656	130	2,787

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、合成樹脂加工業、農畜水産物加工業、石油製品販売業、情報サービス等の各種サービス業等を含んでおります。

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,656
「その他」の区分の利益	130
セグメント間取引消去	22
全社費用及び利益(注)	598
四半期連結損益計算書の営業利益	3,408

(注) 全社費用及び利益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び電力利益であります。

③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

特記すべき事項はありません。

④ 報告セグメントの変更等に関する事項

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更による影響額)

有形固定資産の減価償却方法の変更

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載の通り、一部の在外連結子会社は、従来、有形固定資産の減価償却方法について定率法を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、「電子」のセグメント利益が518百万円増加しております。

(重要な後発事象)

特記すべき事項はありません。